

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 3 月 8 日作成)

小委員会名	建築アーカイブズ小委員会	主 査 名：加藤雅久 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：西澤泰彦
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	国内の建築アーカイブズ組織相互のネットワーク形成と情報共有。 また建築アーカイブズのもつ課題への対応の検討 1. 国内の建築アーカイブズ組織による合同活動報告会の開催 2. 建築アーカイブズの運営にかかわるワークショップの開催 3. 上記をつうじて共有された課題の整理と、それへの対応の検討	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：加藤雅久 (居住技術研究所) 幹事：齋藤歩 (京都大学)、戸田穰 (金沢工業大学) 委員：遠藤康一 (8d/遠藤康一建築設計事務所)、笠原一人 (京都工芸繊維大学)、倉方俊輔 (大阪市立大学)、佐藤美弥 (埼玉県立文書館)、高木愛子 (谷口吉郎・吉生記念金沢建築館)、藤本貴子 (文化庁国立近現代建築資料館)、増田泰良 (東京工業大学付属高等学校)、三宅拓也 (京都工芸繊維大学)、本橋仁 (京都国立近代美術館)、安田徹也 (竹中大工道具館)、山崎鯛介 (東京工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2019 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (他に、幹事会を京都大学と金沢工業大学を TV 会議で接続し開催した。) (2 回目は 3 月 17 日予定のところ、新型肺炎の影響で中止した。)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	計画 1. 建築資料所蔵機関による合同報告会の開催 成果 1 の成果：合同報告会は開催しなかったが、委員会において、各委員の所属機関における現状や課題等の情報交換を実施した。 計画 2. 建築アーカイブズ運営にかかわるワークショップの開催 成果 2. ワークショップは文化庁国立近現代建築資料館との共催で 6 月 25 日開催に向けて双方準備を重ねていたところ、資料館側から「講習会」として資料館単独開催としたい旨申し出があり、了承した。なお当日の講師の一部には小委員会委員でもある数名が参加した。共催は実現できなかったが、準備を通じて国立アーカイブズ講習会の初開催に間接的に寄与した。かねてより建築資料館にアーキビスト講習機能を持たせるべきと主張してきた小委員会として大きな成果であった。 計画 3. アーカイブズ、アート・ドキュメンテーション、キュレーション関係者へのヒアリング 成果 3. 主査の ICOM 京都大会への参加など、各委員の活動を通して関係各所へ情報収集した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 現在 14 名中関東以外が 9 名で、旅費が不足している。また、主査幹事も関東以外なので、建築会館を拠点に Skype 会議とすることも困難である。今後は関東/関西/北陸のブロック別開催も考えていく必要がある。 2. 建築資料管理の当事者に非会員が多いため、非会員との連携が必須